

瑞穂市

家庭のごみと資源に関するアンケート

調査結果報告書

平成 30 年 7 月

一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター

目 次

1. 調査の概要	1
① 調査の目的	1
② 調査対象	1
③ 調査方法	1
④ 実施期間	1
⑤ 回収状況	1
⑥ 標本誤差	2
⑦ 留意事項	2
2. 集計結果	3
① あなたご自身のことについて	3
② ごみの収集・分別について	4
③ 3Rの取り組みなどについて	12
④ ごみ処理費用について	20
3. 住民満足度指標	22

1. 調査の概要

① 調査の目的

一般廃棄物処理基本計画改定にあたり、市民満足度を把握するとともに、ごみ出しの状況やごみに対する考えを把握し、計画策定のための資料とすることを目的としました。

② 調査対象

住民基本台帳から無作為に抽出した 20 歳以上：900 名
廃棄物減量等推進員：102 名
合計：1,002 名

③ 調査方法

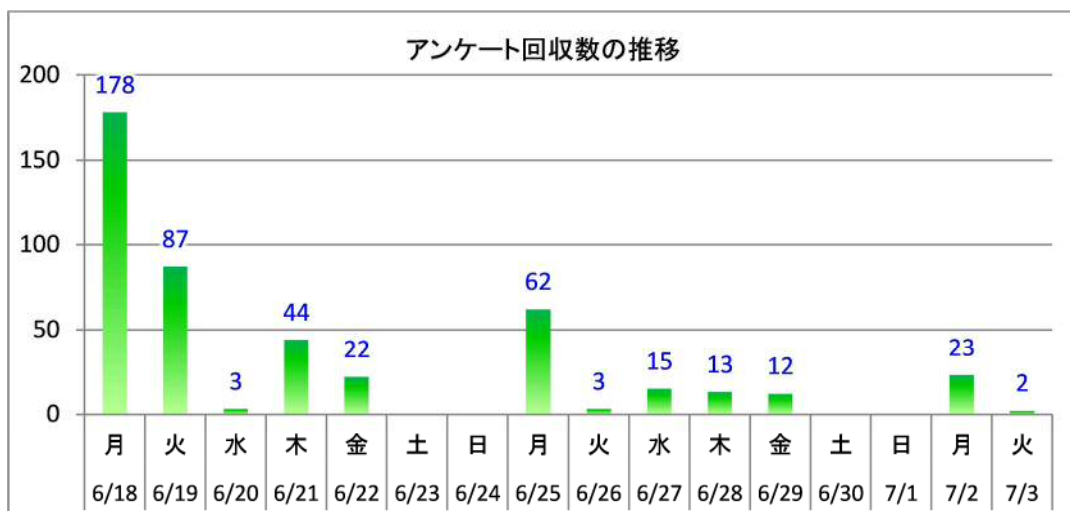
郵送による送付・回収、無記名式

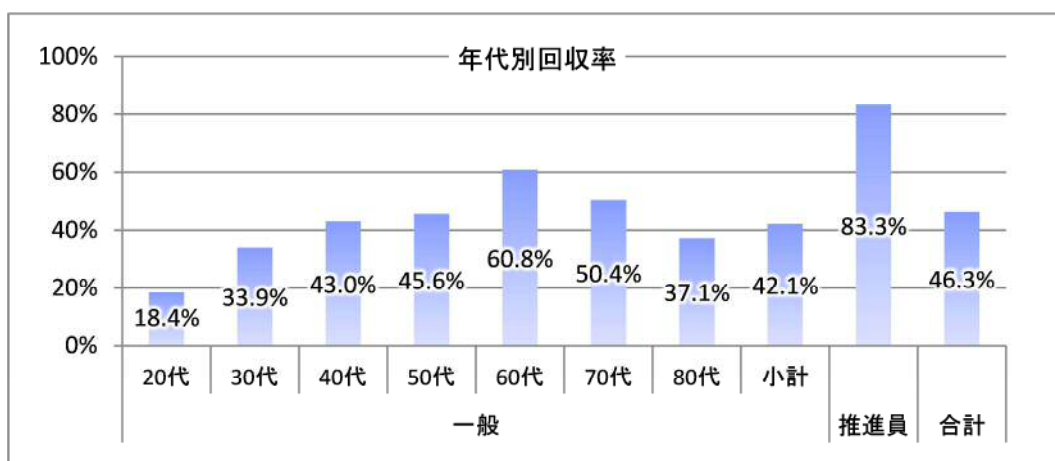
④ 実施期間

調査票送付日：平成 30 年 6 月 13 日（水）
調査票回収期限：平成 30 年 6 月 29 日（金）
調査票集計：平成 30 年 7 月 3 日（火）到着分までを集計

⑤ 回収状況

発送数：1,002 通
回収数：464 通（一般 379 通、推進員 85 通）
回収率：46.3%





⑥ 標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいですが、実際には適切な数の標本を抽出してサンプル調査を行うことになります。

サンプル調査では、サンプルの結果から母集団あるいは調査対象の全体を推計しますので、回答に誤差の可能性が生じます。

その誤差は標本誤差と呼ばれています。標本誤差の推定が 100 回のうち 95 回あたる、すなわちその度合いで正確さが保障できるという場合、信頼度 95%とよびます。

社会調査ではコストと調査期間、設問に対する許容誤差の点で、信頼度 95%（係数 1.96）を用いるのが一般的です。

サンプル調査（ n 人^{※1}）で、母集団でのパーセント（ P ^{※2}）、母集団の大きさ（ N ^{※3}）とすると、標本誤差（ E ）の計算式は下記の通りとなります。

本調査の標本誤差は 4.5%となり、誤差率の基準である 5%未満を下回っています。

$$E = 1.96 \times \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P \times (1 - P)}{n}}$$

※1：アンケート回収数（464 通）

※2：ある質問に回答する割合（2 択の設問が最大となり 50%）

※3：本市の人口（54,373 人・2018 年 5 月 31 日現在）

⑦ 留意事項

端数処理のため、割合の合計が 100%にならない場合があります。

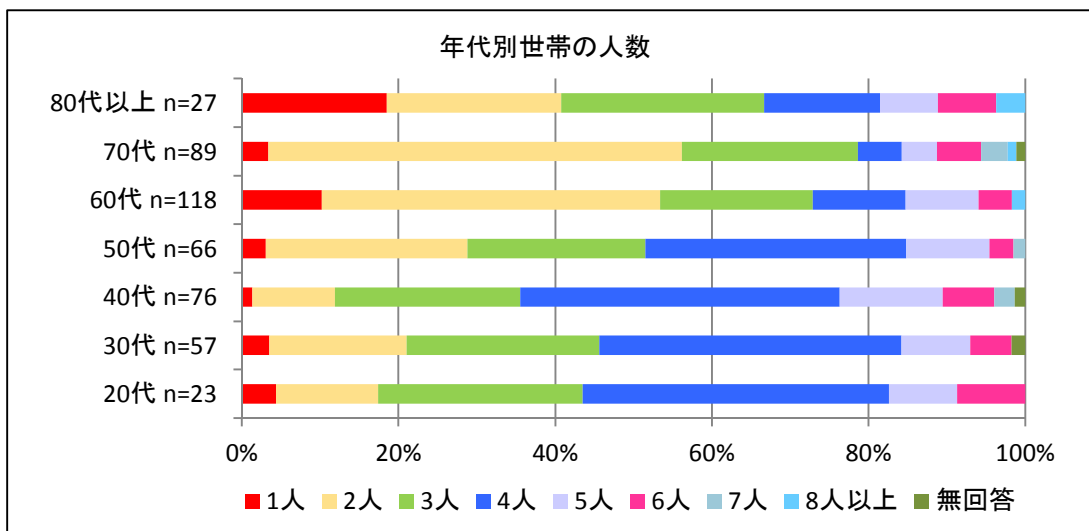
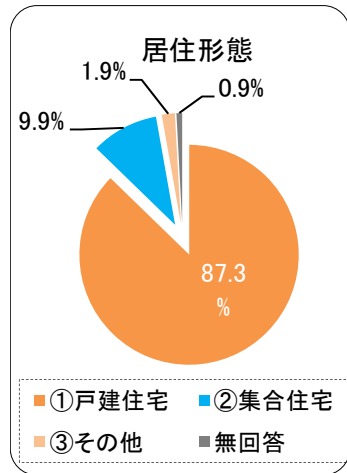
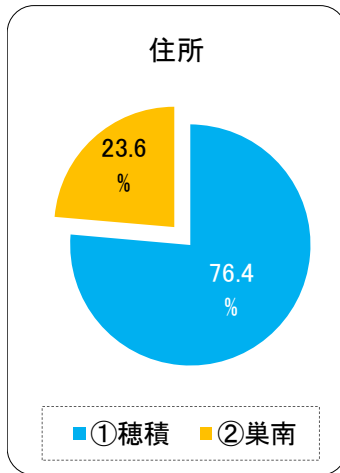
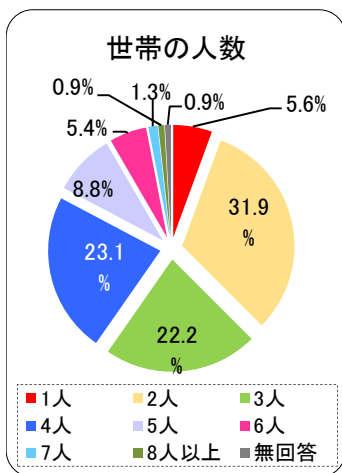
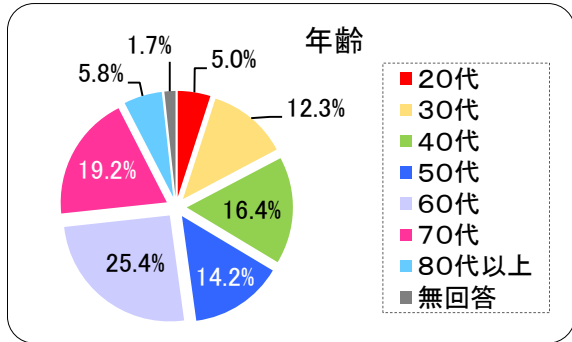
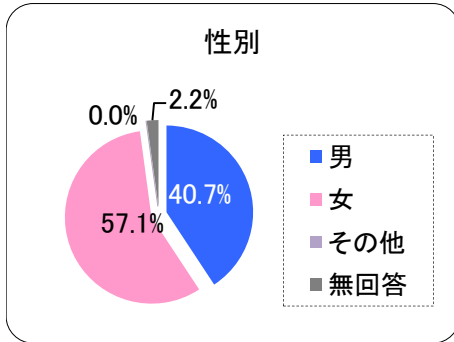
クロス集計グラフ中の「 $n=$ 」の値は母数を示します。

グラフの青系色は肯定的な回答、赤系色は否定的な回答、緑は分からない、灰色は未回答を示します。

4. 集計結果

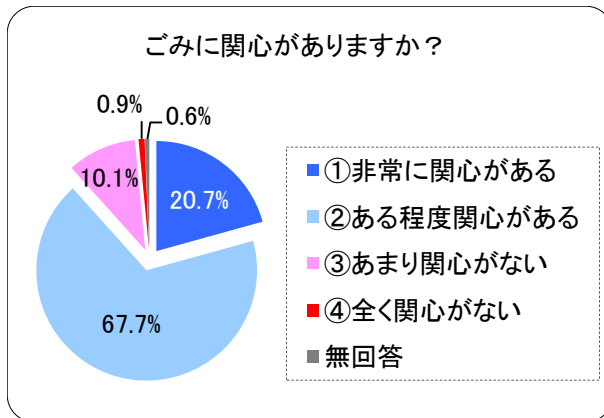
① あなたご自身のことについて

問 1 あなたの「性別」、「年齢」、「世帯人数」、「住所」および「居住形態」について教えてください。



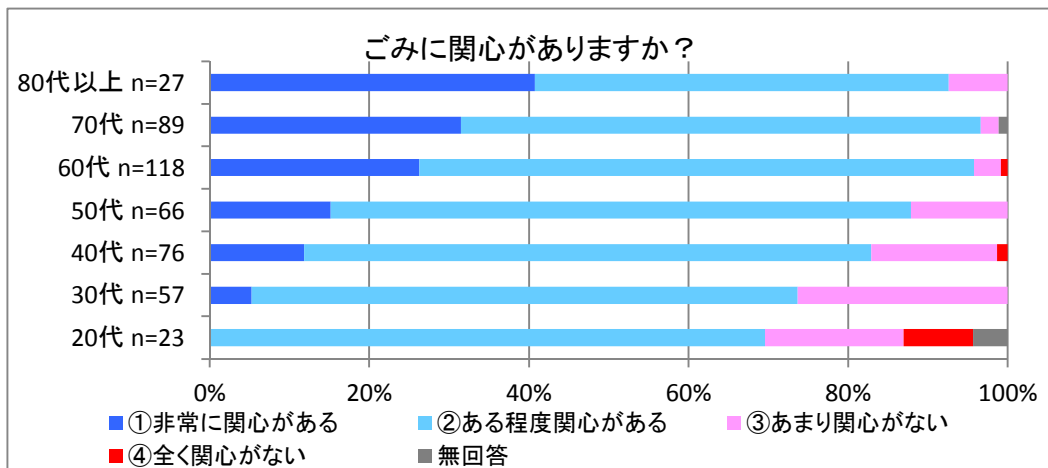
② ごみの分別・収集について

問2 ごみに関心がありますか？

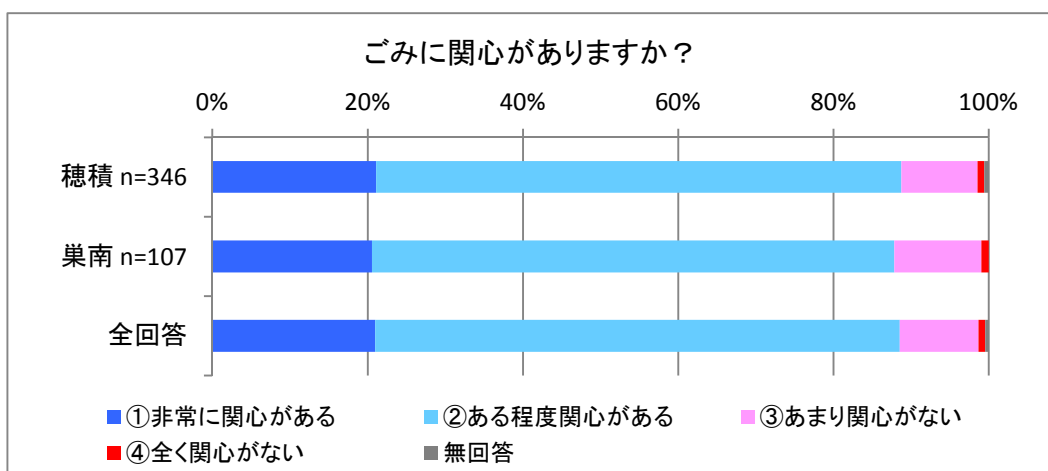


9割近くが「興味がある」と回答していることから、未回収のアンケート結果が全て「興味がない」としても、4割以上の市民がごみに関心があることを示しています。

また、年代別のクロス集計を見ると、年齢が若くなるほど関心がなくなる傾向が見られます。

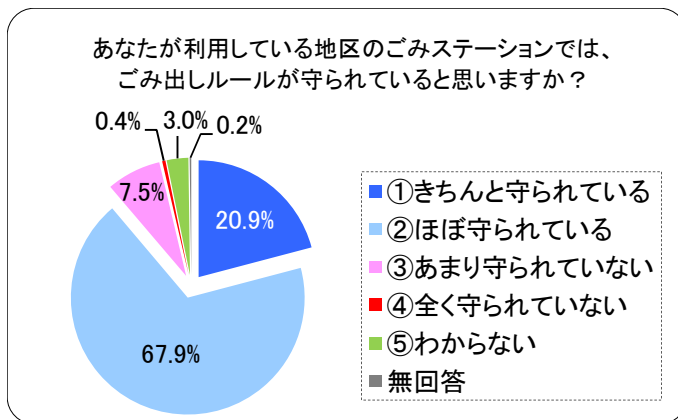


問3 年代別クロス集計結果



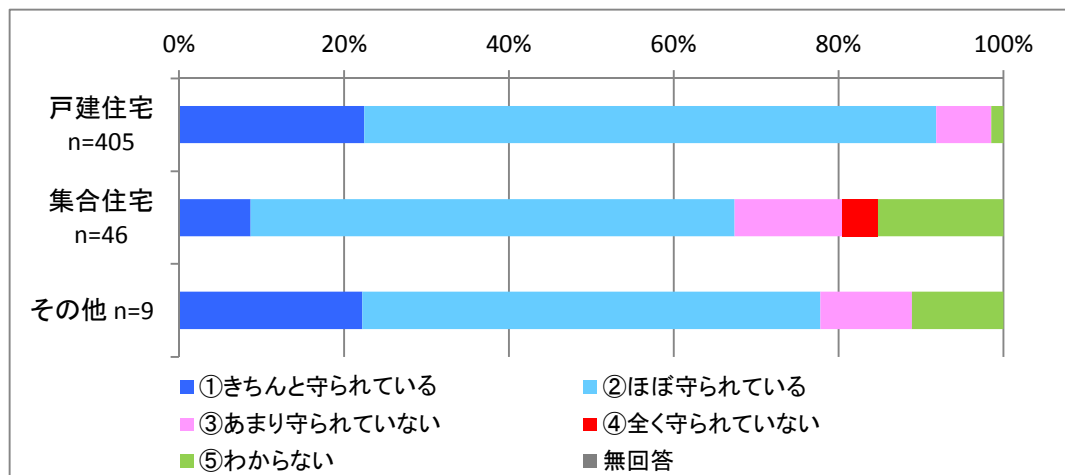
問3 住所別クロス集計結果

問 3 あなたが利用している地区のごみステーションでは、ごみ出しルールが守られていると思いますか？

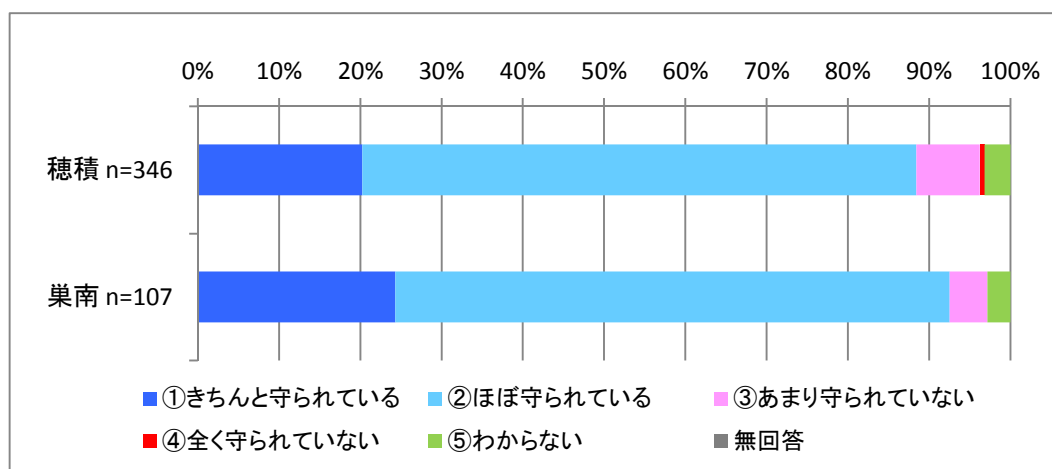


9割近くが守られていると回答していますが、全く守られていないとの回答も2件ありました。

居住形態別クロス集計結果を見ると、集合住宅で守られていない割合が高くなっています。

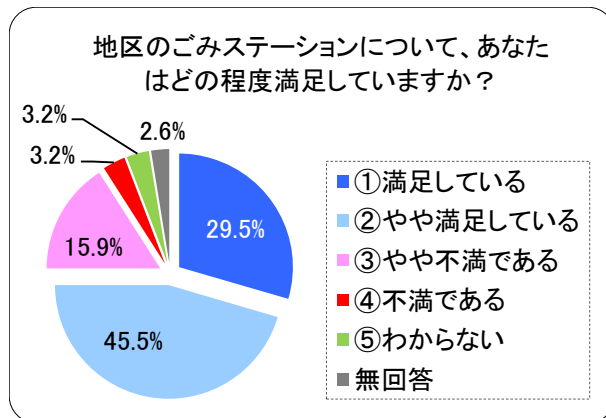


問 3 居住形態別クロス集計結果



問 3 住所別クロス集計結果

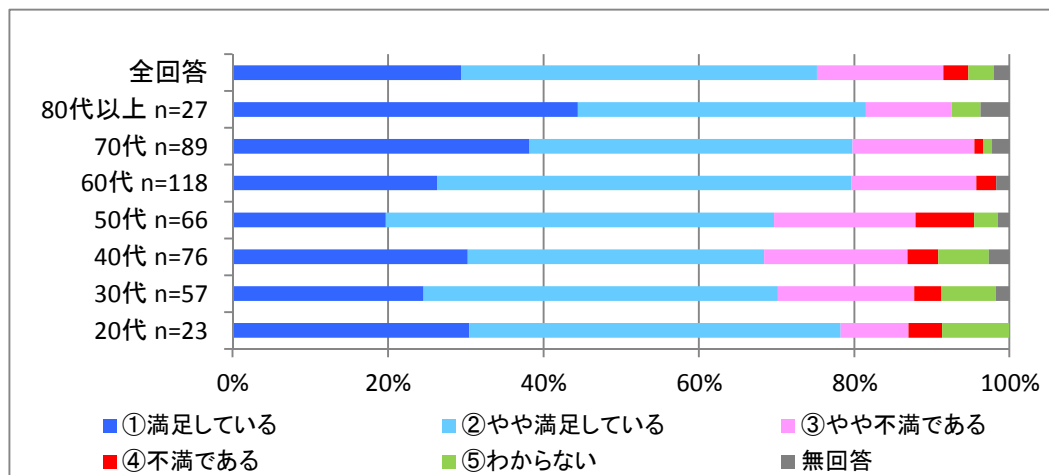
問4 地区のごみステーションについて、あなたはどの程度満足していますか？



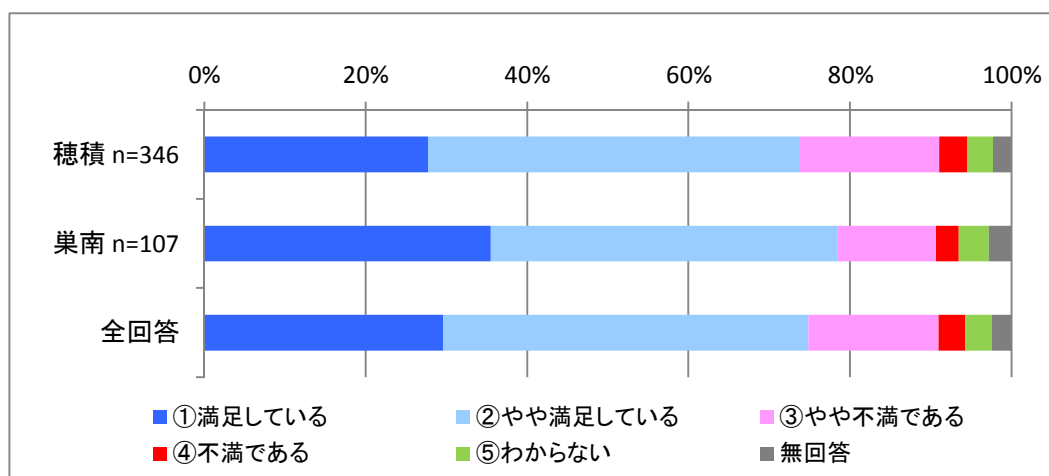
7割以上が満足していると回答していますが、不満に感じている人も約2割います。

年代別クロス集計結果を見ると、30代～50代における不満が比較的高くなっています。

住所別でみると、穂積地区の不満がやや高くなっています。

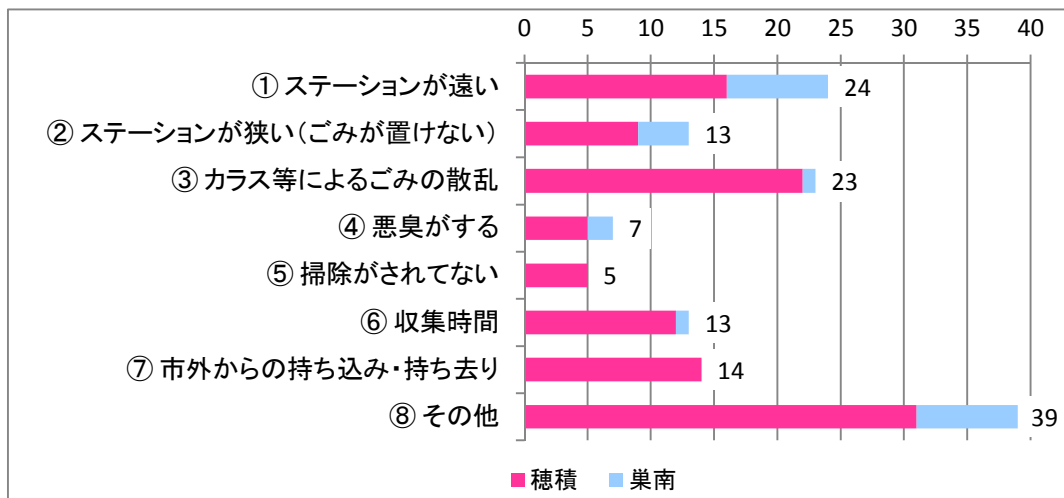
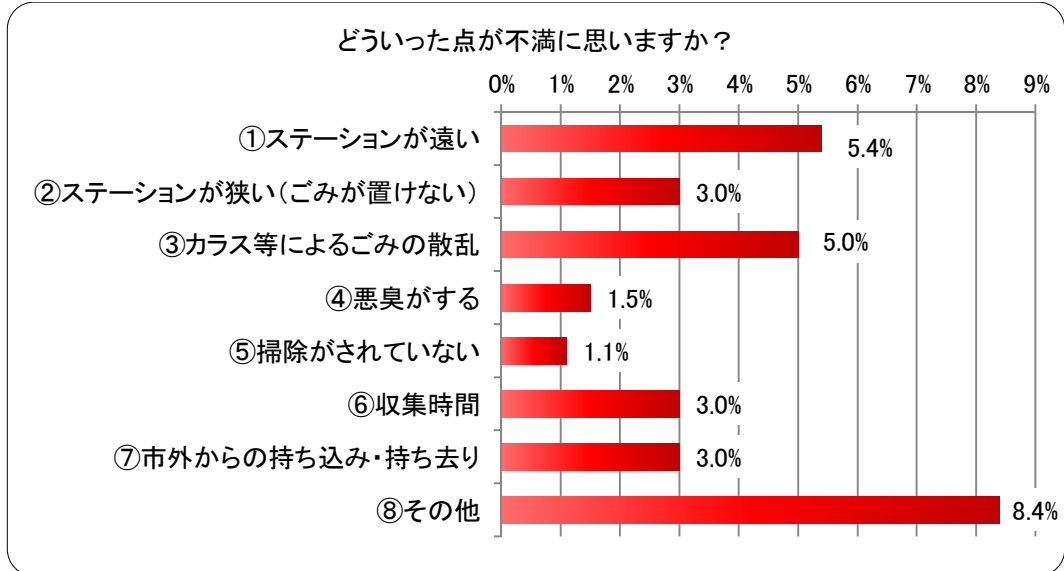


問4 年代別クロス集計結果



問4 住所別クロス集計結果

問5 問4で「③ やや不満である」「④ 不満である」とご回答いただいた方にお聞きします。どういった点が不満に思いますか？（複数回答可）

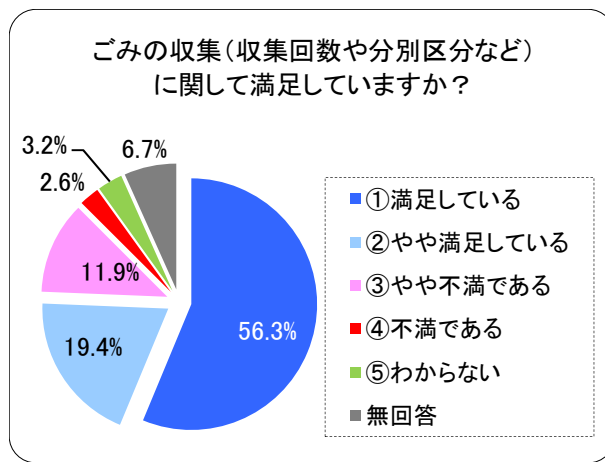


問5 地区別クロス集計結果

問5 不満のある内容

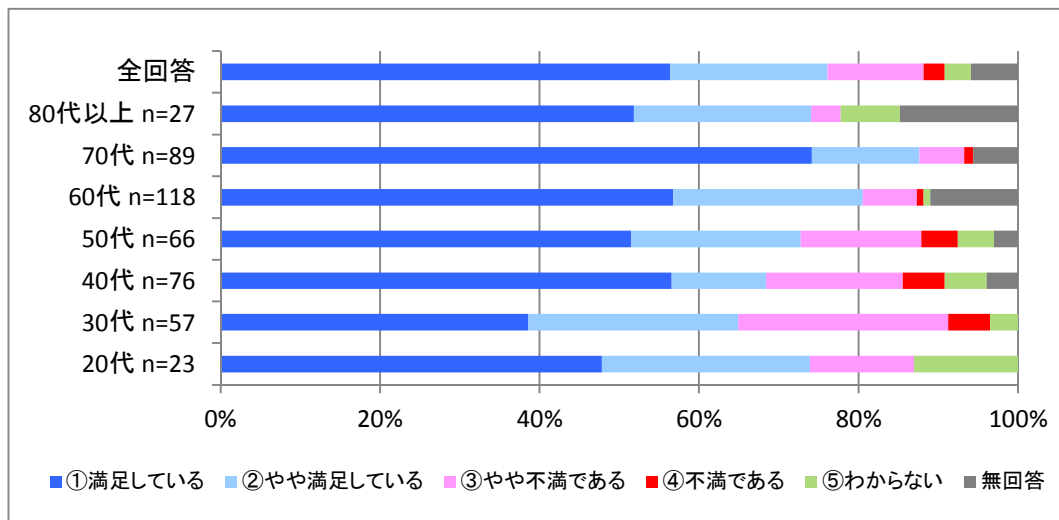
内容	件数	割合
ごみ出しルールが守られていない	15件	3.2%
ごみステーションが遠い・少ない	4件	0.8%

問6 ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？

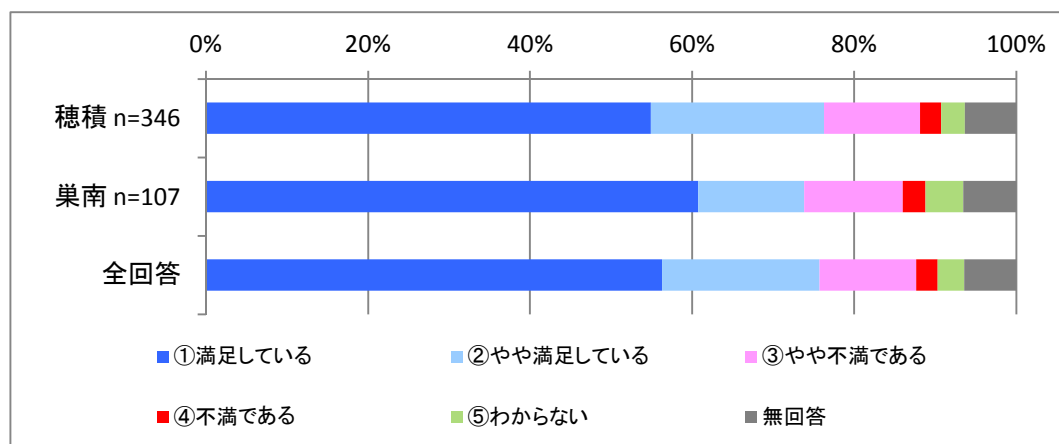


約4分の3の人が満足していると回答していますが、不満であるとの回答も12件あります。

年代別クロス集計結果で見ると、30～50代の不満の割合が高くなっています。



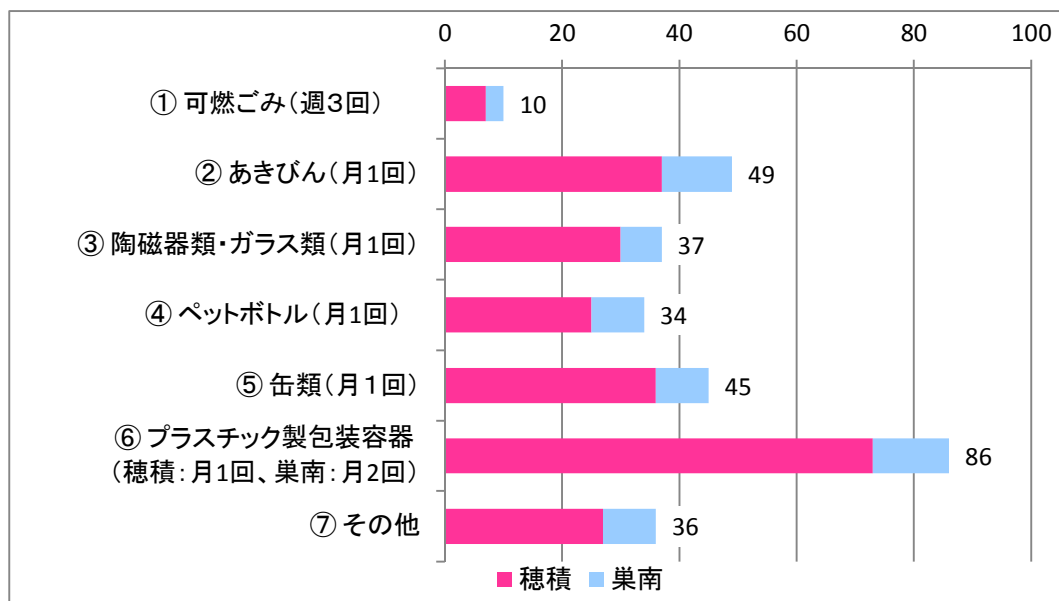
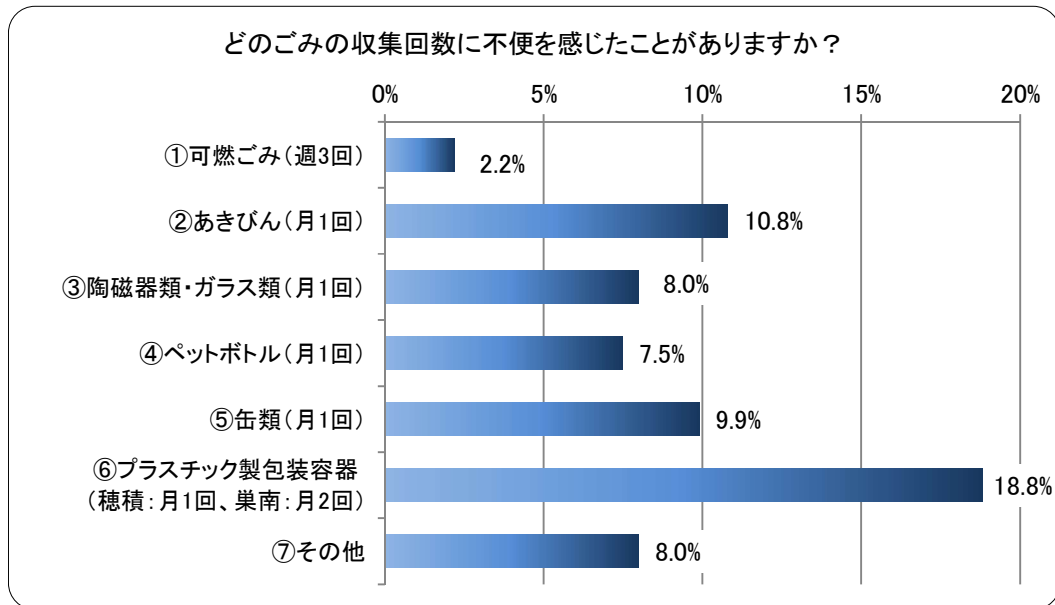
問6 年代別クロス集計結果



問6 地区別クロス集計結果

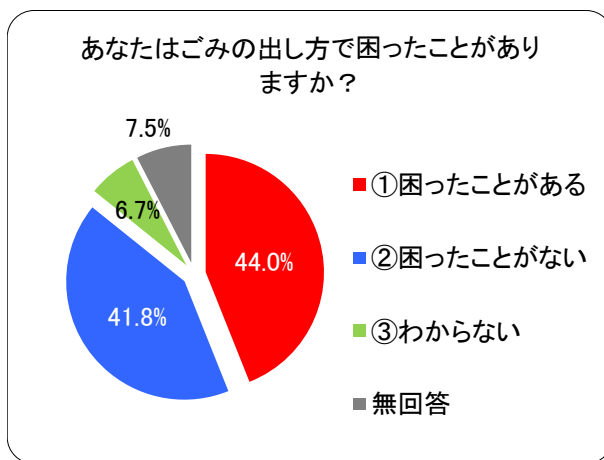
問7 問6で「② やや満足している」「③ やや不満である」「④ 不満である」とご回答いただいた方にお聞きます。どのごみの収集回数に不便を感じたことがありますか？（複数回答可）

資源ごみの中でもプラスチック製容器包装の収集回数に不満を感じている人が、全回答者のうち約2割います。特に、月1回の収集である穂積地区での不満の割合が高くなっています。



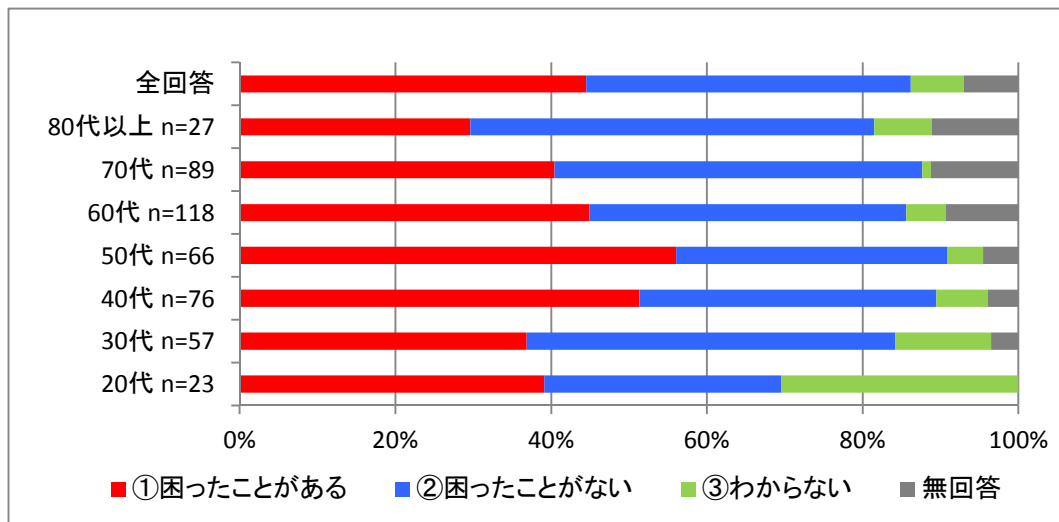
問8 住所別クロス集計結果

問 8 あなたはごみの出し方で困ったことがありますか？

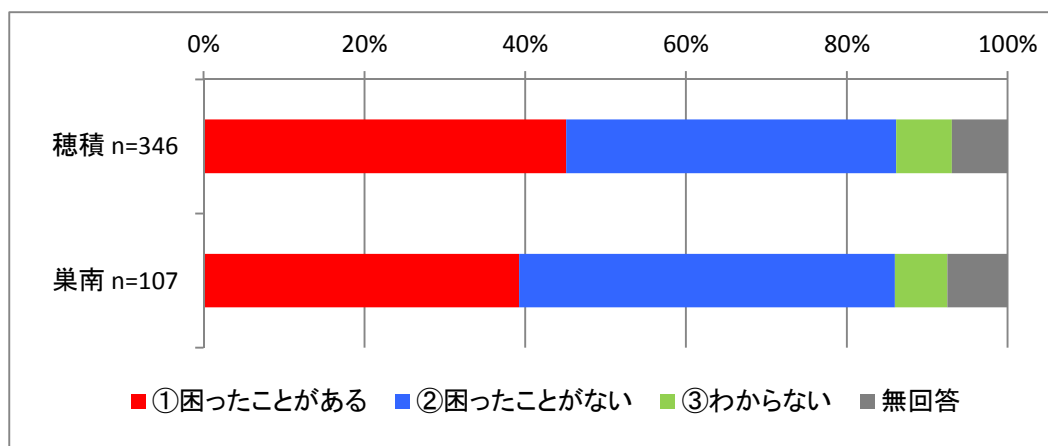


約 4 割の人が困ったことがあると回答しています。

年代別集計結果を見ると 40 代、50 代の困ったことのある回答が高くなっています。地区別クロス集計結果では穂積地区の困ったことのある割合がやや高くなっています。



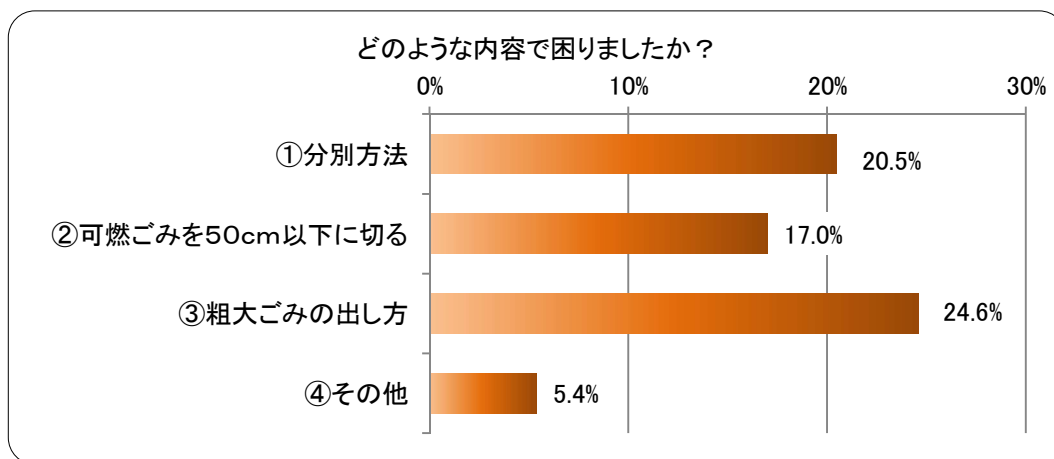
問 8 年代別クロス集計結果



問 8 地区別クロス集計結果

問9 問8で「① 困ったことがある」と回答いただいた方にお聞きします。どのような内容で困りましたか？

(複数回答可)

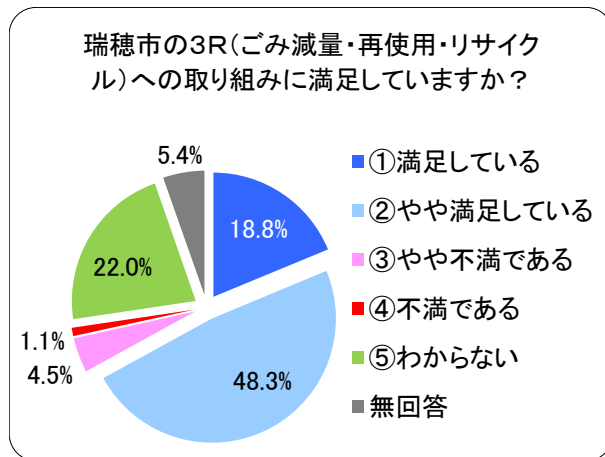


問9 その他の回答

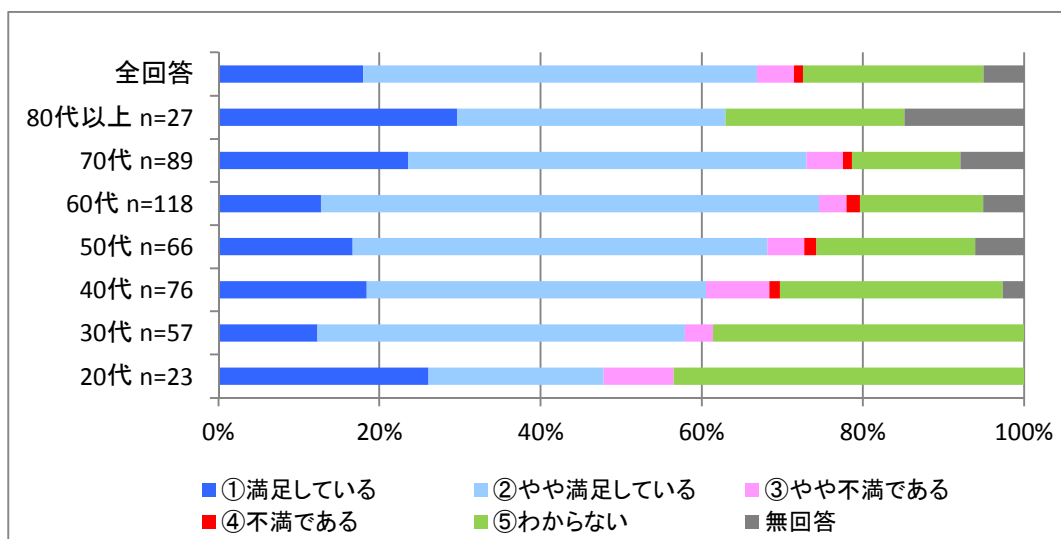
内容	件数	割合
収集時間が合わない、祝日の収集がない	4件	0.9%
ごみ出しのルールが守られていない	4件	0.9%
ごみ当番が負担	3件	0.6%
発泡スチロールを小さくすること	3件	0.6%
指定袋が小さい	3件	0.6%

③ 3Rの取り組みなどについて

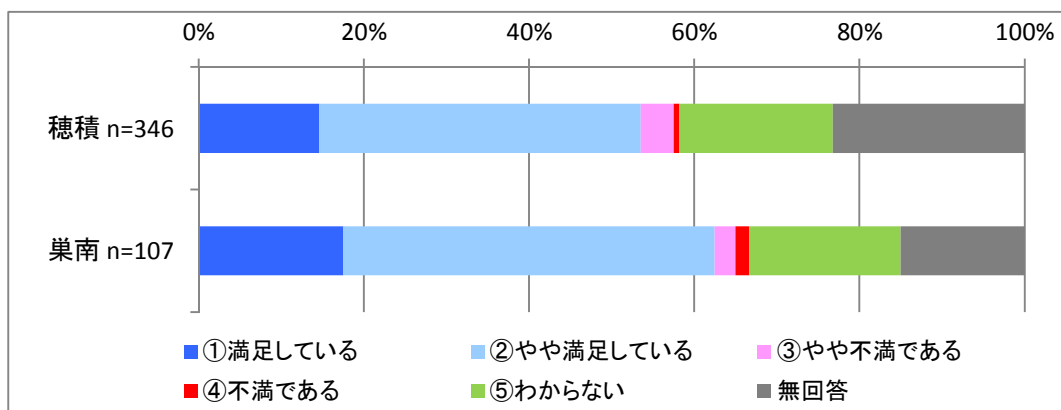
問 10 瑞穂市の「ごみ減量・再利用・リサイクル」(3R)への取り組みに満足していますか？



約7割の人が満足しています。
年代別で見ると、若い人の満足度が低くなっています。
住所別に見ると、穂積地区の満足度が低い結果となっています。

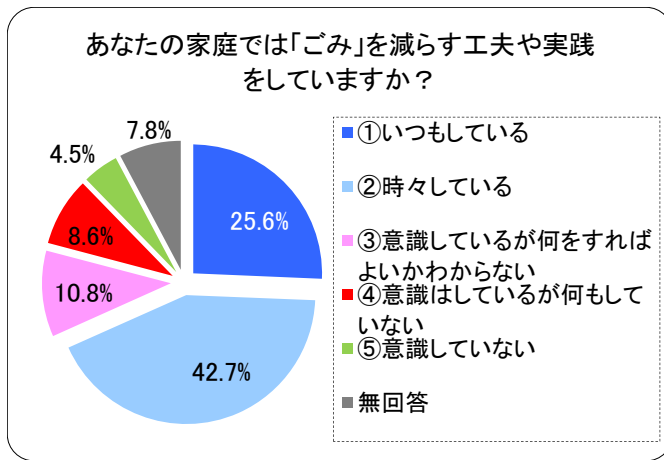


問 10 年代別クロス集計結果



問 10 住所別クロス集計結果

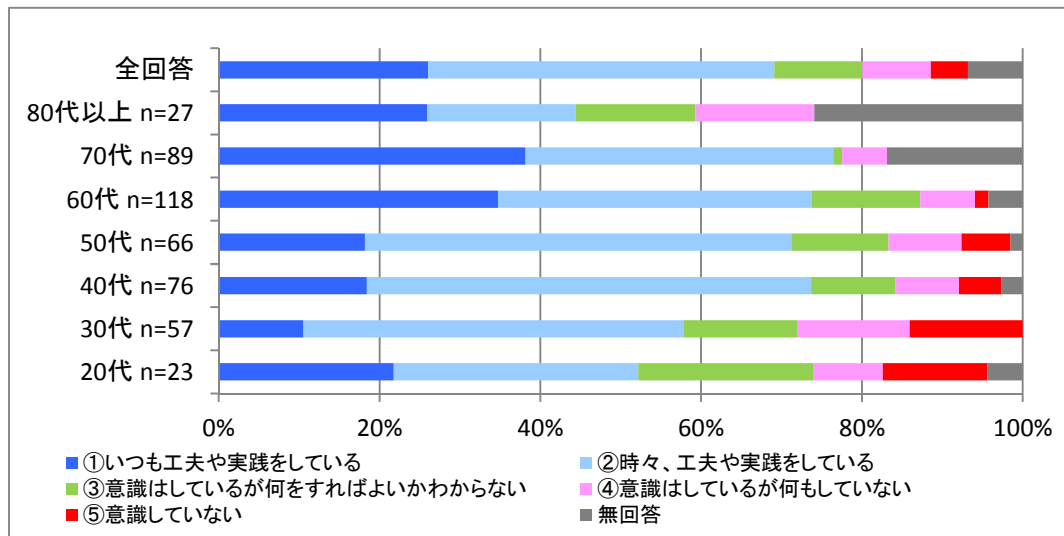
問 11 あなたの家庭では「ごみ」を減らす工夫や実践をしていますか？



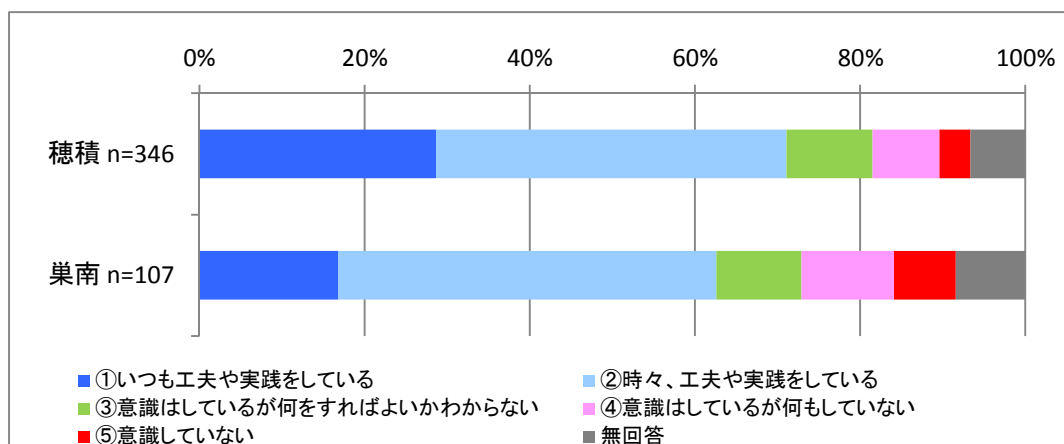
約 7 割の人がごみを減らす工夫や実践をしていると回答しています。

年代別で見ると、20 代、30 代の実践している人の割合が低くなっています。

地区別で見ると、穂積地区の減量に取り組んでいる人割合が高くなっています。



問 10 年代別クロス集計結果



問 10 住所別クロス集計結果

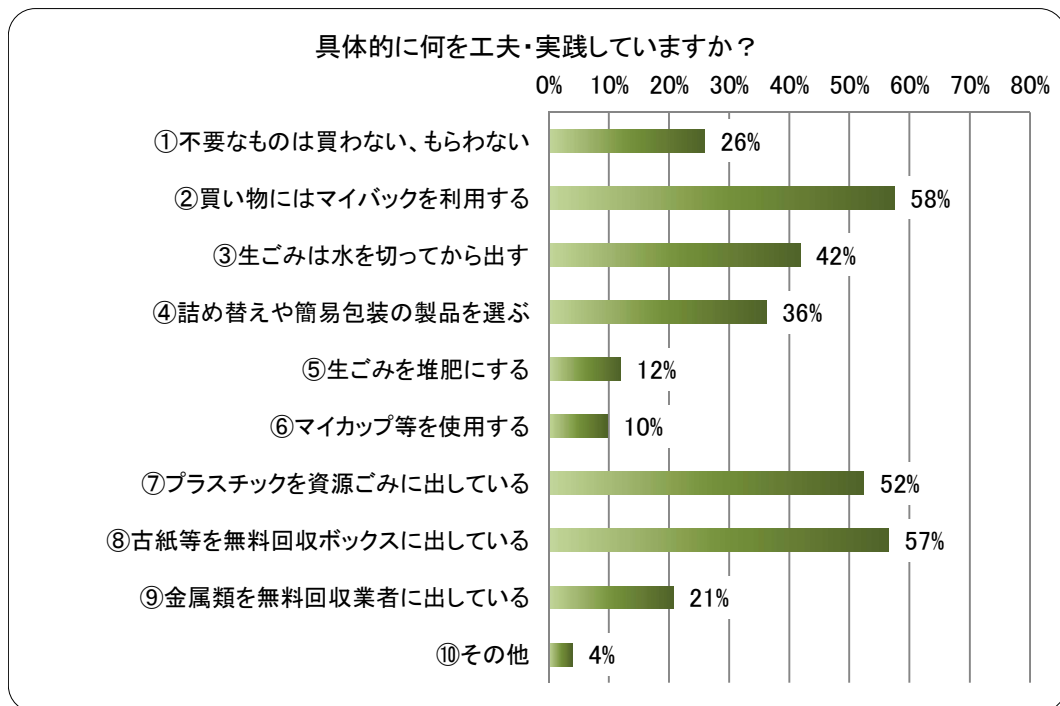
問 12 問 11 で 「① いつも工夫や実践をしている」 「② 時々、工夫や実践をしている」 とご回答いただいた方にお聞きします。具体的に何を工夫・実践していますか？（複数回答可）

回答を分類すると、①～④はリデュース（発生抑制）の取り組み、⑤～⑨はリサイクル（再資源化）の取り組みとなります。

発生抑制の取り組みでは、約 6 割の人がマイバックを持参すると回答しており、一定の割合でマイバック持参運動が定着していることが伺えます。

資源化の取り組みでは、プラスチック製容器包装を資源に分別している人の割合は 5 割程度にとどまっています。

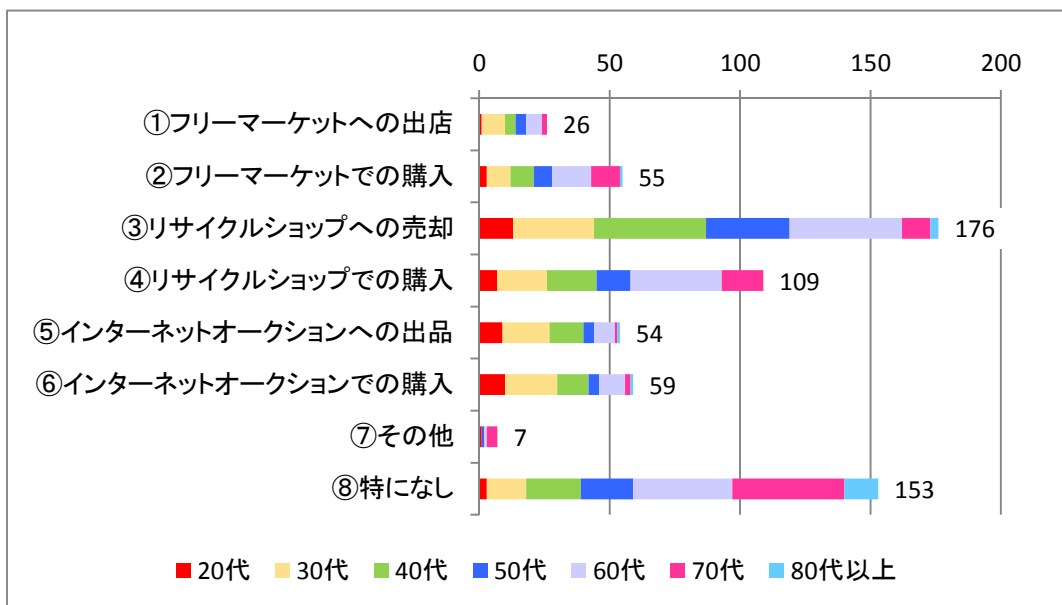
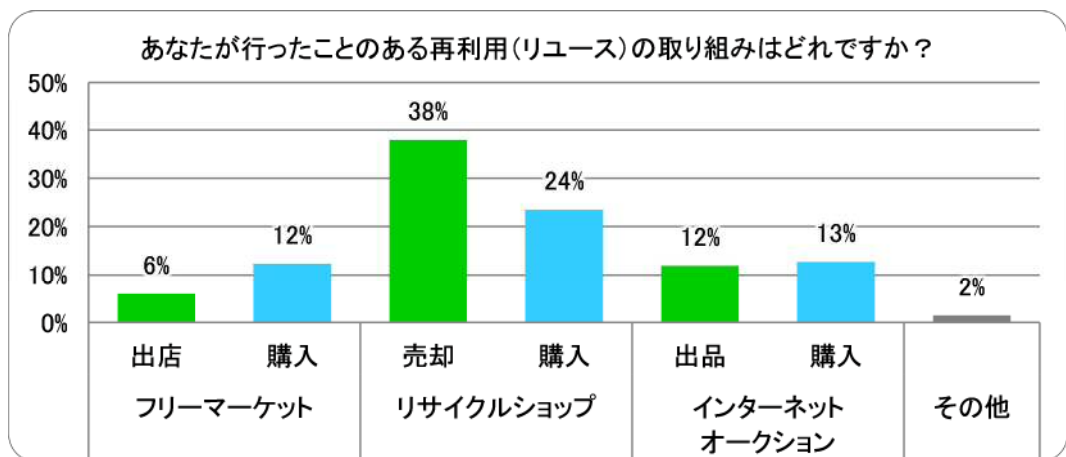
市の把握することのできない資源の量となる、新聞紙など「古紙の民間回収」は 6 割近くの人が利用しており、不適正処理が懸念される金属類の無料回収業者を利用している人が 2 割以上います。



問 13 あなたが行ったことのある再利用（リユース）の取り組みはどれですか？（複数回答可）

リサイクルショップの利用は購入よりも売却の割合が高くなっているのに対し、インターネットオークションの使用は、出品よりも購入の割合が高くなっています。

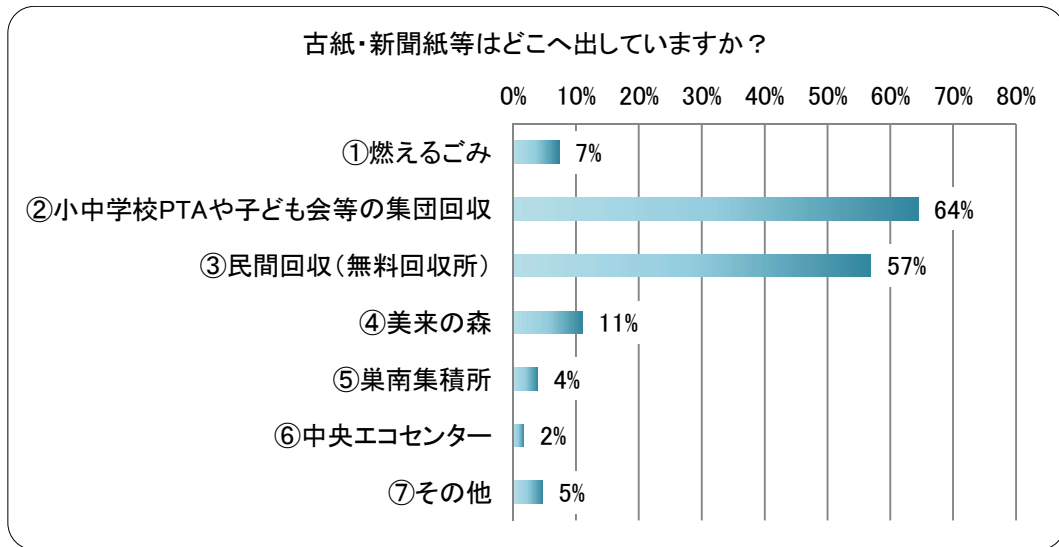
年代別クロス集計結果を見ると、リサイクルショップの利用は 40～60 代が多いのに対して、インターネットオークションは 20～30 代の利用が多くなっています。



問 13 年代別クロス集計結果

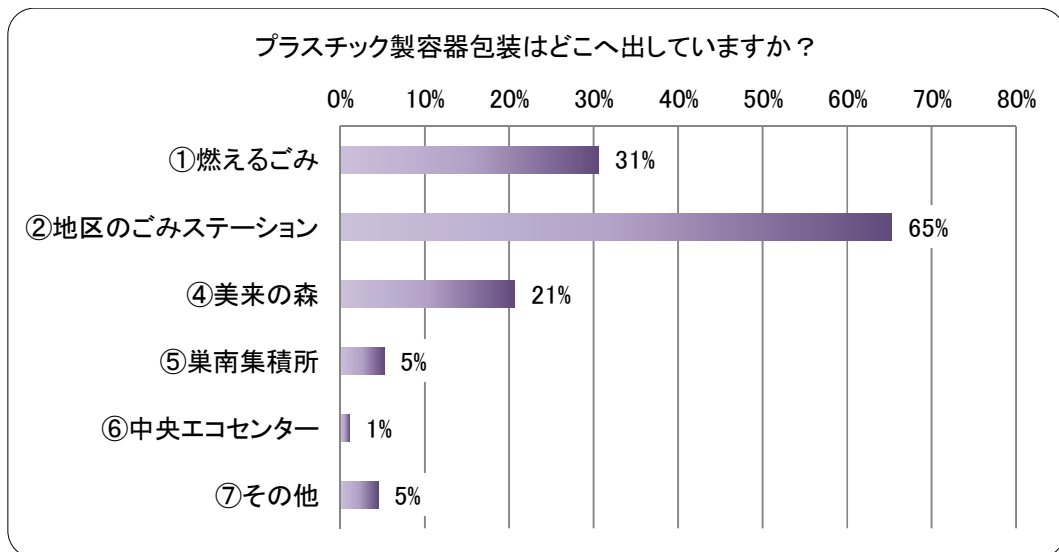
問 14 古紙・新聞紙等はどこへ出していますか？（複数回答可）

古紙を集団回収に出している人は6割以上ですが、民間回収に出している人も6割近くいます。複数の回答を選ぶことのできる設問であるため、集団回収の実施頻度が少ない地域では、多くの古紙が民間の無料回収所へ排出されていると考えられます。



問 15 プラスチック製容器包装はどこへ出していますか？（複数回答可）

6割以上の方が分別して資源としてステーション収集に出していると回答していますが、3割の方は分別せずに燃えるごみとして排出しています。

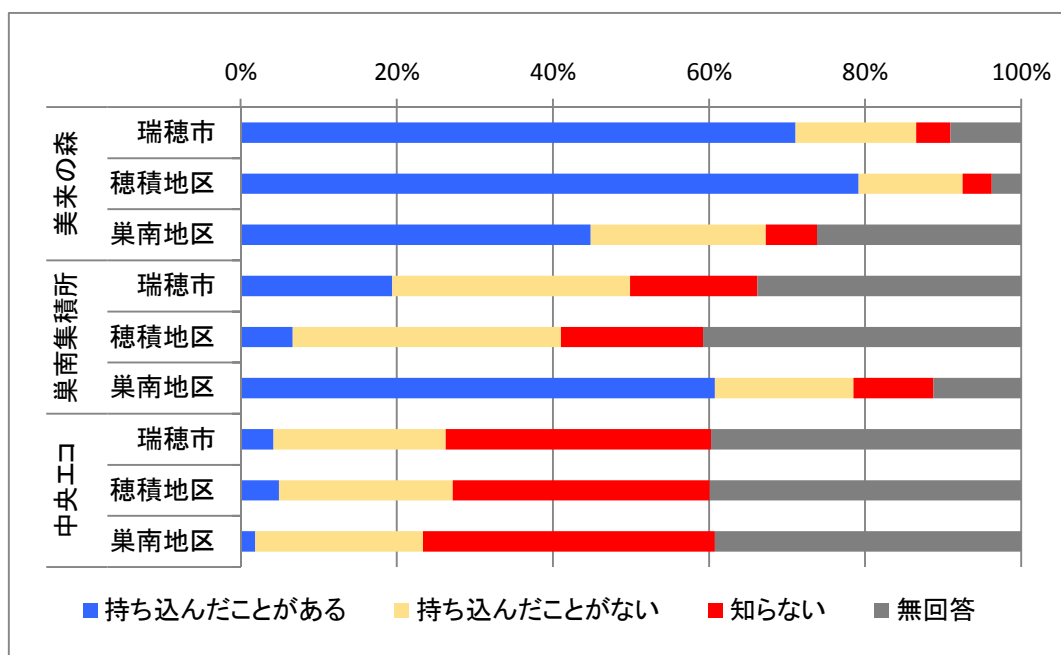
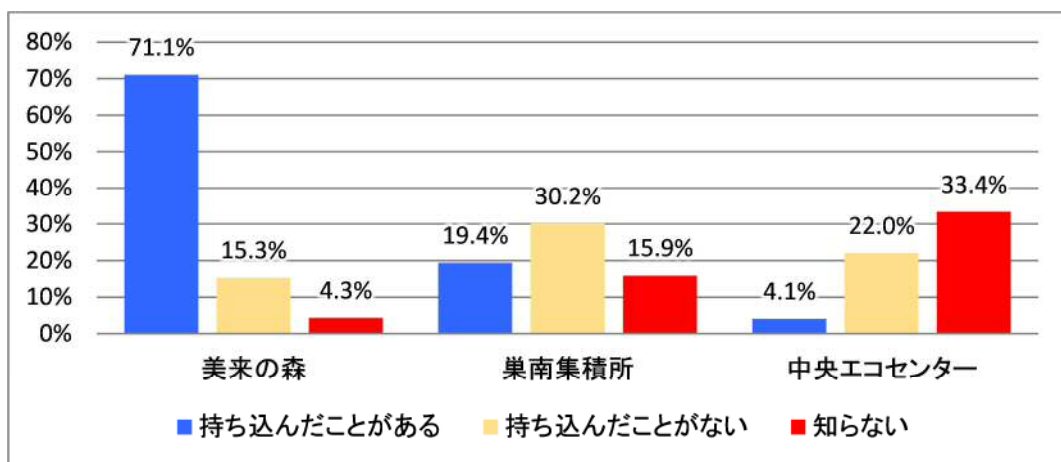


問 16 美来の森・巣南集積所・中央エコセンターに資源ごみを持ち込んだことはありますか？

美来の森は 7 割以上の方が利用したことがあると回答していますが、巣南地区に限ると 5 割以下の利用となっています。なお、問 14、問 15 の回答を考慮すると、美来の森を利用したことがあると回答した人の多くは粗大ごみの持ち込みであると考えられます。

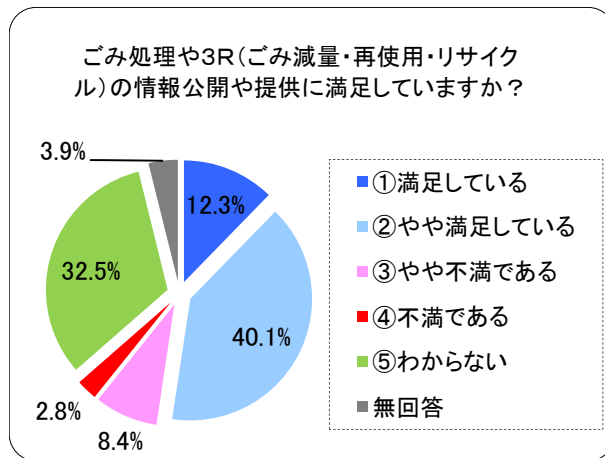
巣南集積所の利用はほとんどが巣南地区の人となっており、穂積地区の約 6 割の人が知らない、もしくは無回答となり認知度が低くなっています。

また、中央エコセンターは 7 割以上の方が知らない、もしくは無回答となり認知度が低くなっています。



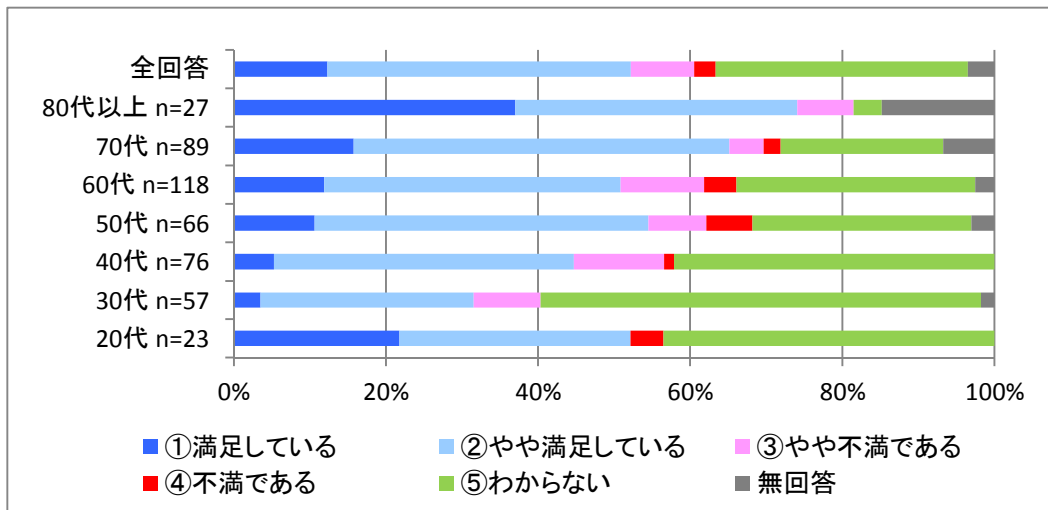
問 16 地区別クロス集計結果

問 17 ごみ処理や「ごみ減量・再使用・リサイクル」(3R)の情報公開や提供に満足していますか？

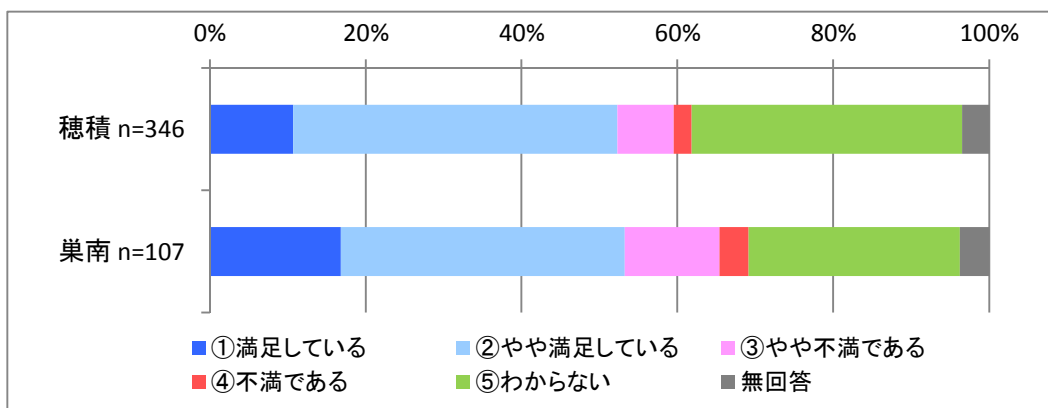


約 5 割の人が満足していると回答しています。不満と回答した人は 1 割程度ですが、約 3 割の人が「わからない」と回答しています。

年代別の集計結果を見ると、30 代の「わからない」が 6 割近くと高くなり、40代~60代の不満が高くなっています。地区別で見ると、巢南地区の満足度がやや低くなっています。

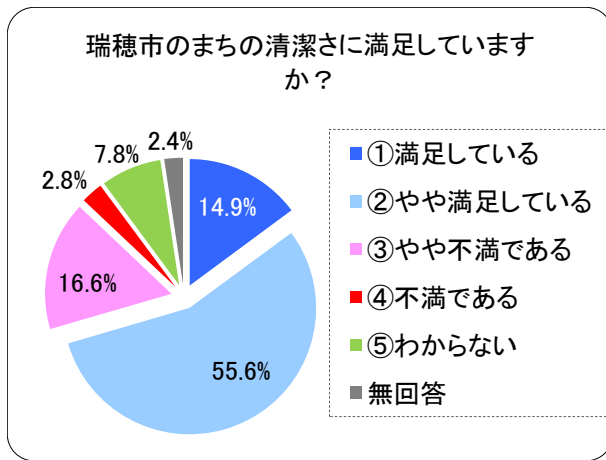


問 17 年代別集計結果

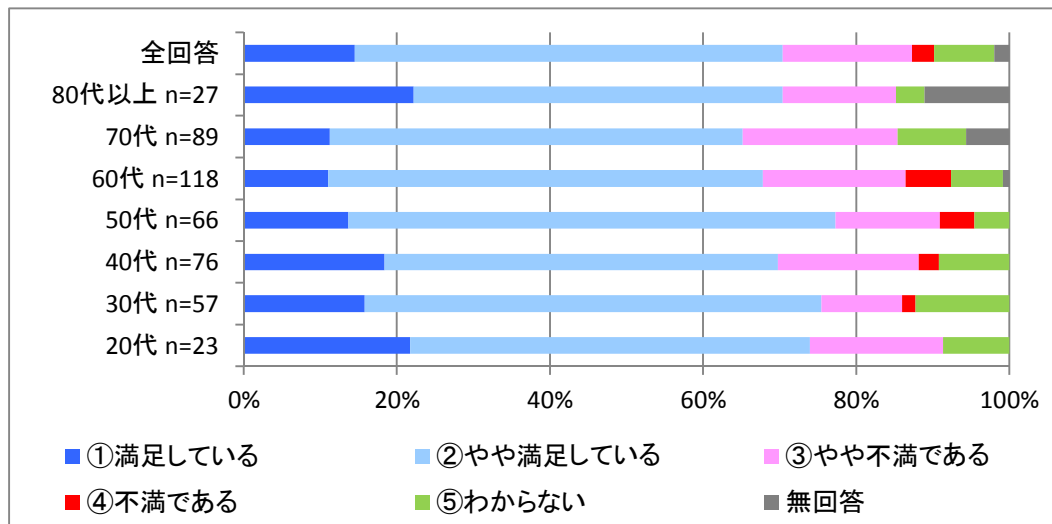


問 17 住所別集計結果

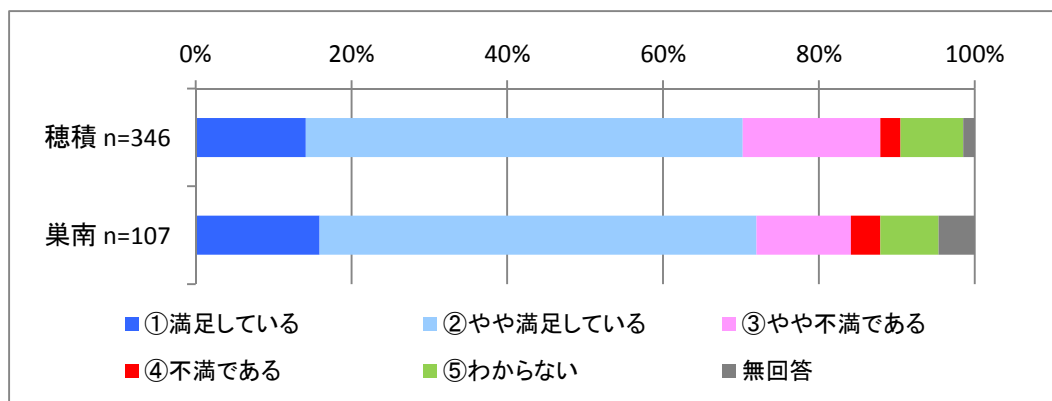
問 18 瑞穂市の街の清潔さに満足していますか？



約 7 割の人が満足と回答していますが、約 2 割の人が不満と回答しています。
年代別、地区別で大きな差は見られません。



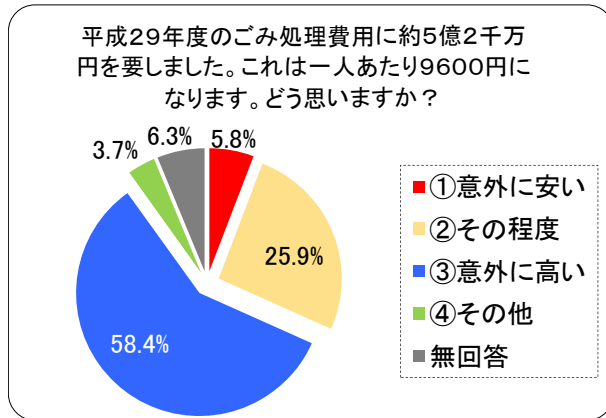
問 18 年代別集計結果



問 18 住所別集計結果

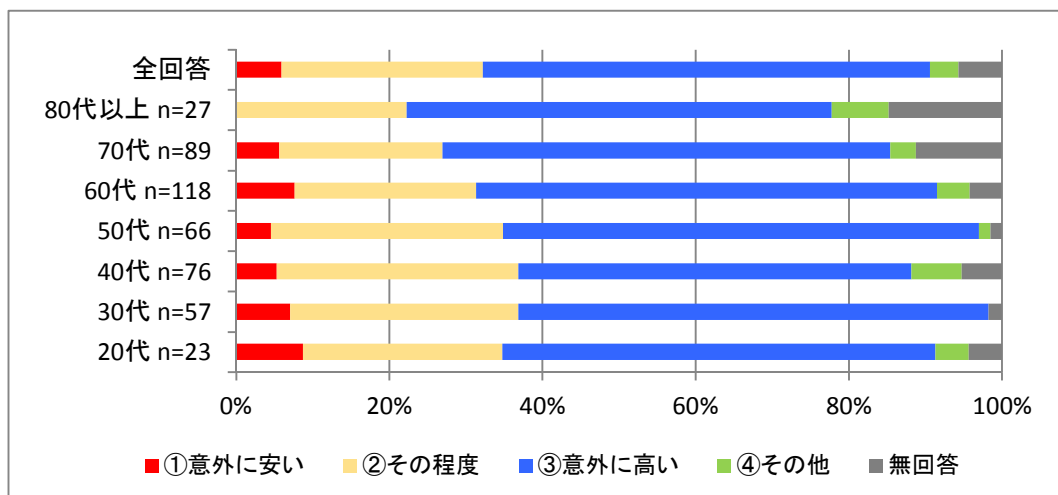
④ ごみ処理費用について

問 19 瑞穂市では平成 29 年度のごみ処理に約 5 億 2 千万円を要しました。これを市民一人あたりに換算すると約 9,600 円/年になります。この費用について、あなたはどのように思いますか？

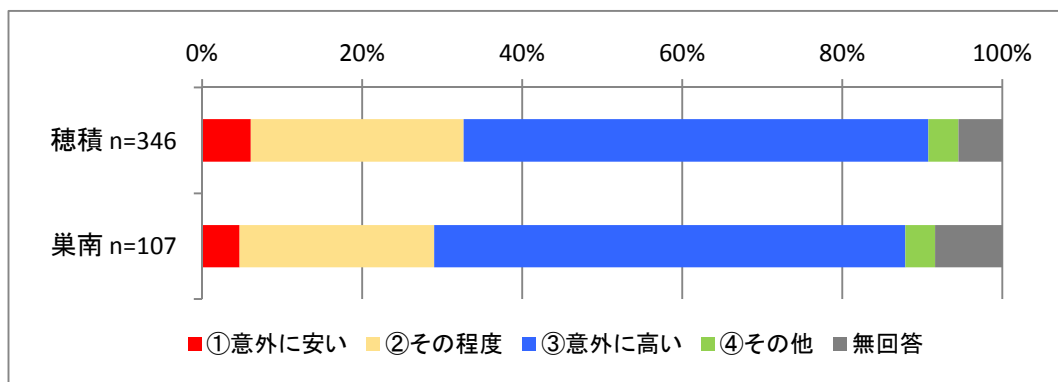


約 6 割の人が以外に高いと回答しています。

年代別、地区別で大きな差は見られません。

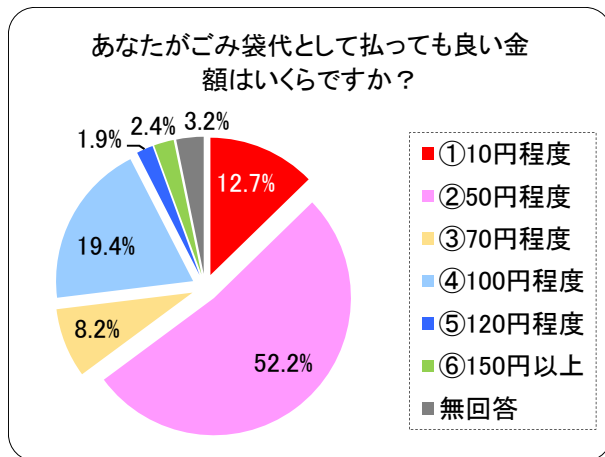


問 19 年代別集計結果

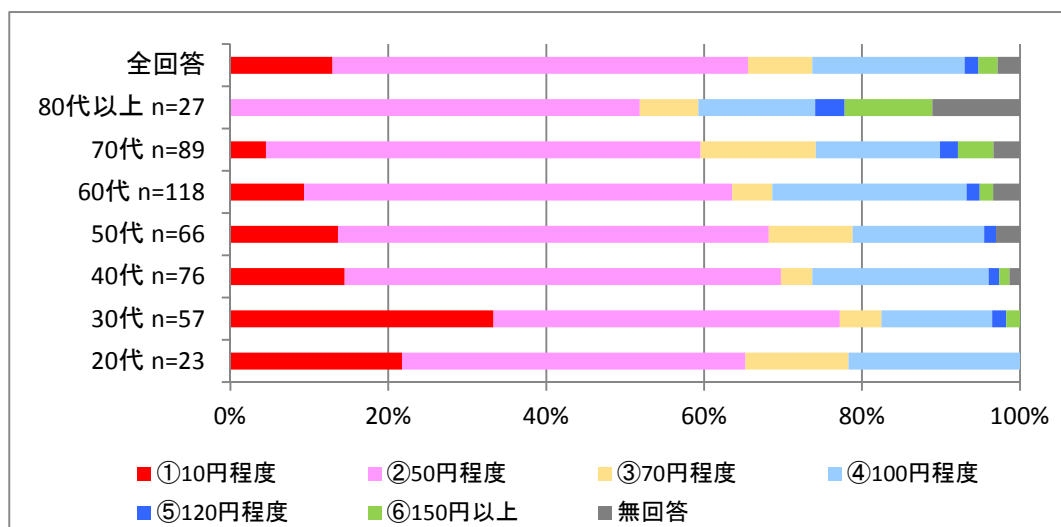


問 19 世帯の人数別集計結果

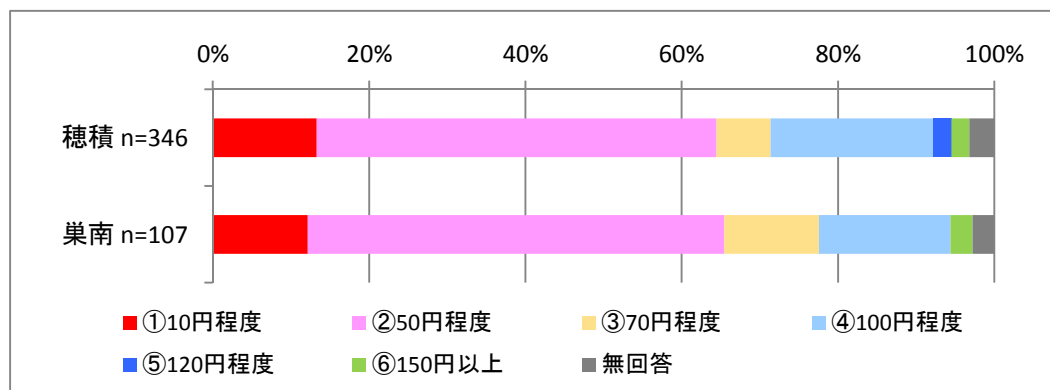
問 20 可燃ごみを処理する費用は大1袋（5kg）あたり約170円必要です。あなたがごみ袋代として払ってもよい金額はいくらですか？※現在の指定袋は1袋50円



現状の「50円」と回答したのは約5割であるのに対し、約3割の人が現状より値上げしても良いと回答しています。年代別に見ると、20代を除き年齢が若いほど金額が安いほうが良いと回答しています。住所別に大きな差は見られません。



問 21 年代別集計結果



問 21 住所別集計結果

5. 住民満足度指標

『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』（環境省・平成25年4月）に示されているアンケート調査項目について、回答の総合得点により住民満足度指数を算出し評価を行いました。

問6：ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？

問10：瑞穂市の「ごみ減量・再使用・リサイクル」（3R）への取り組みに満足していますか？

問17：ごみ処理や「ごみ減量・再使用・リサイクル」（3R）の情報公開や提供に満足していますか？

問18：瑞穂市の街の清潔さに満足していますか？

① 集計方法

(ア) 「満足している」5点、「やや満足している」4点、「やや不満である」2点、「不満である」を1点として設問毎に平均得点を算出しました。「わからない」及び無回答は有効回答数に加えません。（平均得点を算出する際の有効回答者数に加えない）平均得点が3.0点以上となれば、よく評価していると判断できます。

(イ) 設問毎に平均得点を算出します。（得点の合計÷有効回答者数）なお、それぞれの平均得点が市民満足度に関する補足指標となります。

(ウ) 設問毎の平均得点の平均値を算出し、市民満足度の総合評価とします。

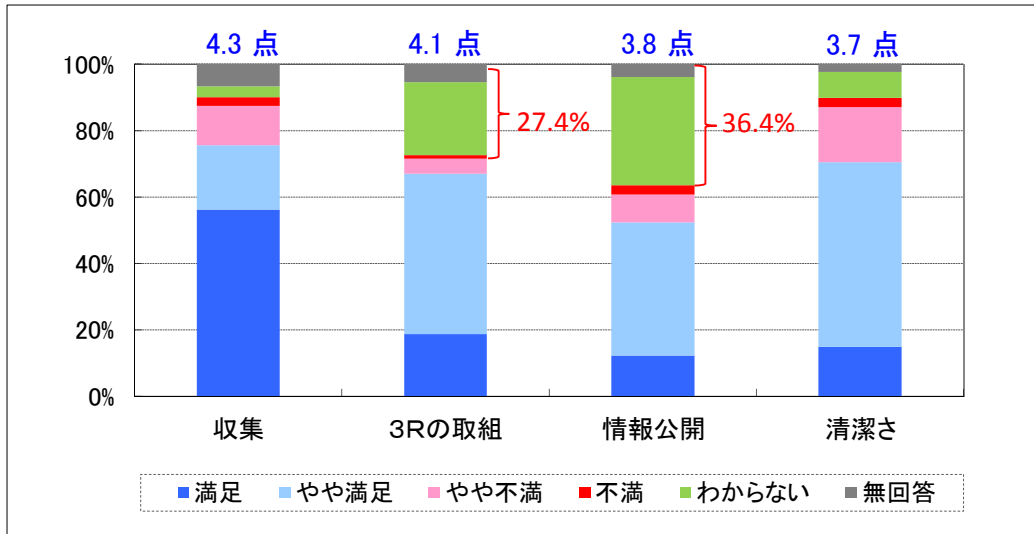
(エ) 「わからない」及び「無回答」は回収数に対する割合を算出することにより、市民の認知度を測る指標として活用できます。

② 集計結果

アンケート調査の結果、4問の平均得点による総合評価は4.0点となり、平均3点を大幅に上回り良好な結果でした。

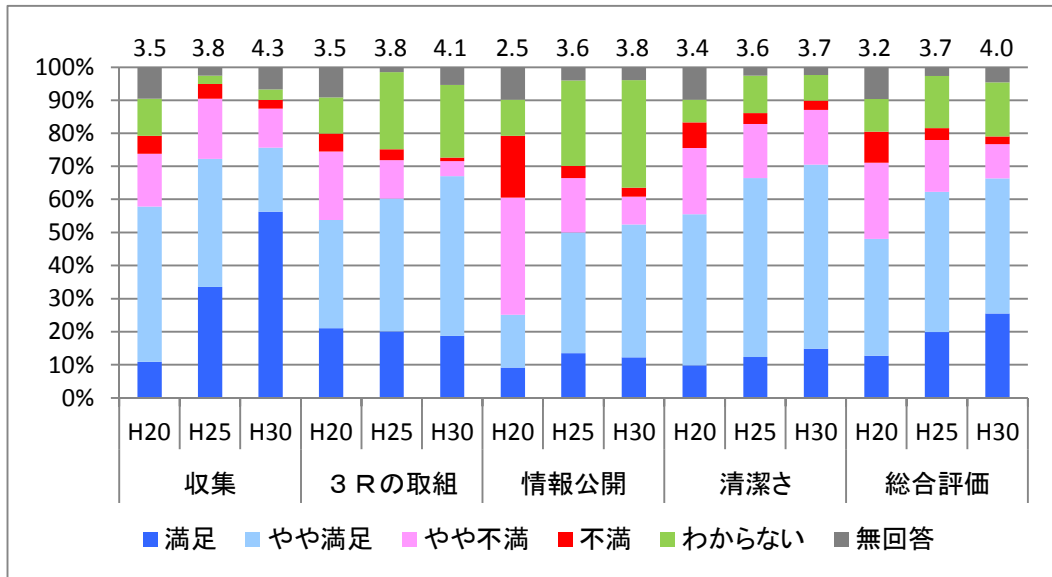
しかしながら、3Rの取り組みや情報公開における「わからない」及び「無回答」の有効回答数に対する割合は、それぞれ27.4%、36.4%となっており認知度が低くなっています。特に情報公開の認知度が低いことから、市民の皆様にとってより一層わかりやすい情報の提供方法を検討する必要があると考えます。

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	総回答数	有効回答数	得点	平均点
問6	261	90	55	12	15	433	418	1,787	4.3
問10	87	224	21	5	102	439	337	1,378	4.1
問17	57	186	39	13	151	446	295	1,120	3.8
問18	69	258	77	13	36	453	417	1,544	3.7
総合評価									4.0



住民満足度指標

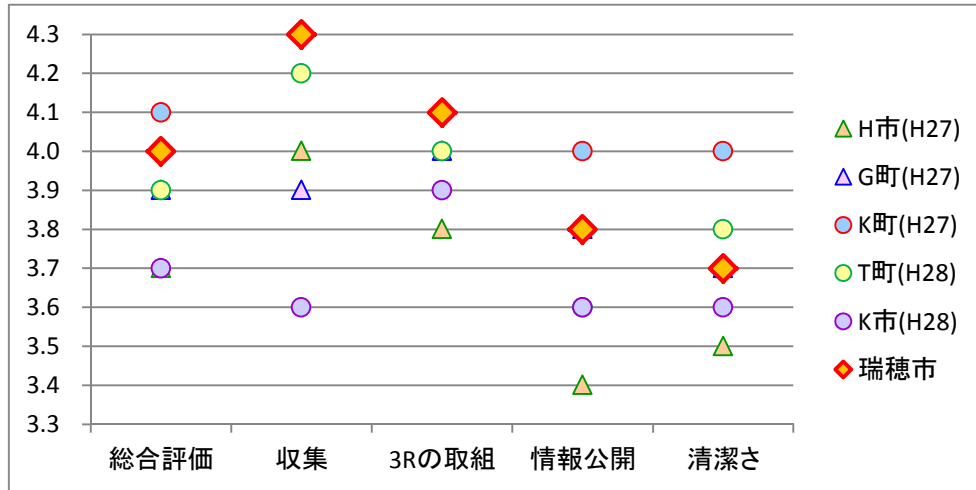
平成 20 年度及び平成 25 年度に実施した調査結果と比較すると、いずれの項目についても、満足度の平均点が上昇しています。



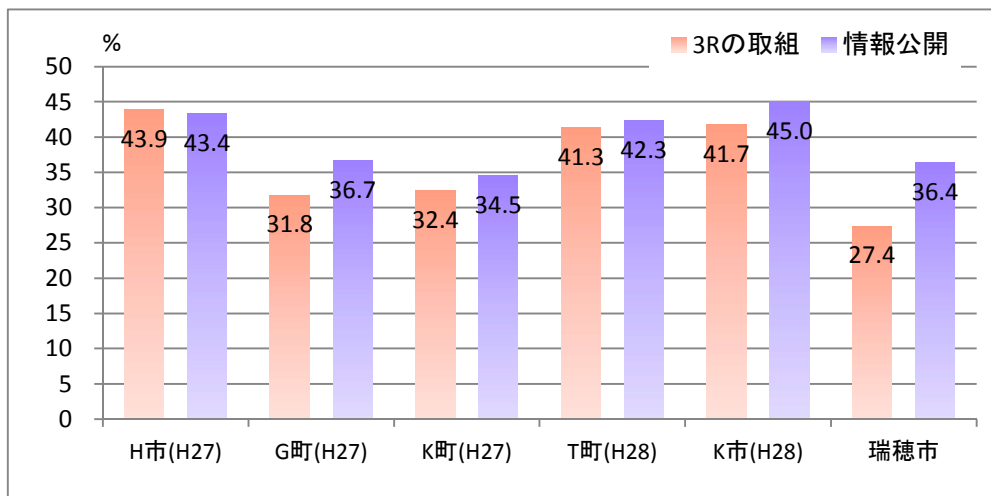
住民満足度指標の推移

満足度及び未認知度を、県内の市町村の調査結果と比較しました。

満足度については、他の市町村と同程度もしくは高い状況を示しています。未認知度の中でも3Rの取り組みについては他市町村よりも未認知度が低くなっています。



県内市町村との比較 (満足度)



県内市町村との比較 (未認知度)